

製品名: テネイシン X ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab18791

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	TNXB
別名	TNXB; HXBL; TNX; TNXB1; TNXB2; XB; Tenascin-X; TN-X; Hexabrachion-like protein
遺伝子 ID	7148.0
SwissProt ID	P22105
免疫原	抗血清はヒト TNXB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1761-1810

背景

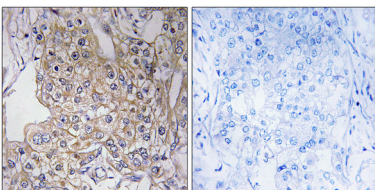
この遺伝子は、細胞外マトリックス糖タンパク質のテネイシンファミリーのメンバーをコードしています。テネイシンは、接着性のフィブロネクチンとは対照的に、抗接着効果を持っています。このタンパク質は創傷治癒の際のマトリックス成熟に機能すると考え

られており、その欠損は結合組織疾患であるエーラスタンロス症候群と関連付けられています。この遺伝子は、6番染色体の主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) クラス III 領域に局在しています。これは、このクラスターで重複している4つの遺伝子の1つです。この遺伝子の重複コピーは不完全であり、転写はされますがタンパク質をコードしない偽遺伝子です。この遺伝子の構造は、それぞれ5'末端と3'末端で CREBL1 遺伝子と CYP21A2 遺伝子と重複するという点で異常です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008年7月],代替産物: 追加のアイソフォームが存在する可能性がある,注意: 偽遺伝子産物である可能性がある。TNXA は副腎皮質で転写活性を有するが、タンパク質産物は観察されていない。注意: TN-X には TNXA と TNXB の2つの遺伝子がある。TNXA は部分遺伝子であり、TNXB と組み換えられることがある。発達段階: 成人では小児よりも発現レベルが低い。疾患: 先天性副腎過形成との関連。疾患: TNXB の欠陥は、テネイシン X 欠損症 (TNXD) [MIM:606408]の原因である。TNXD は、皮膚の過伸展、関節の過可動性、および組織の脆弱性を特徴とするエーラス・タンロス症候群様症候群を引き起こす。しかし、テネイシン X 欠損患者には、古典型エーラスタンロス症候群の主な診断基準である萎縮性瘢痕がみられません。古典型 EDS では創傷治癒の遅延もよく見られますが、これは一部の患者にのみ認められます。機能:細胞と細胞外マトリックスの相互作用を媒介すると考えられています。細胞遊走を阻害すると考えられる基質接着分子です。コラーゲン線維の形成を促進します。上皮性腫瘍の成長を促進する役割を果たしている可能性があります。その他:TNX 遺伝子は、RP1/STK19、C4B、CYP21B/CYP21A2、および TNXB の遺伝子を含む RCCX モジュールと呼ばれる複雑な遺伝子座内のクラス III HLA 領域にあります。ほとんどの染色体は2つのモジュールを持っていますが、ほとんどの集団ではモノモジュールおよびトリモジュールのハプロタイプが一般的です。バイモジュラーハプロタイプは RCCX モジュールの重複によって生じ、RP2/RP1 疑似遺伝子、C4A、CYP21A/CYP21A1P、および TNXA を含む重複遺伝子を形成します。TNXA は TNXB の重複部分であり、おそらく切断された疑似遺伝子で構成されています。120bp の欠失によりフレームシフトが生じ、未熟な終止コドンが存在するため、遺伝子は機能不全に陥っていると考えられます。一部の病態では、モノモジュラー RCCX とバイモジュラー RCCX 間の不等交差により、モノモジュラー RCCX の TNXB 遺伝子とバイモジュラー RCCX の TNXA 遺伝子が融合した TNXB-TNXA ハイブリッド遺伝子を含む染色体が形成されます。TNXB-TNXA ハイブリッドは TNXB-Short 遺伝子に対応し、機能的タンパク質を生成する可能性がある。類似性: テネイシンファミリーに属する。類似性: フィブリノーゲン C 末端ドメインを1つ含む。類似性: EGF 様ドメインを19個含む。類似性: フィブロネクチン III 型ドメインを3つ含む。類似性: フィブロネクチン III 型ドメインを32個含む。サブユニット: ホモ三量体。29番目のフィブロネクチン III 型ドメインを介して、I 型、III 型、V 型コラーゲンおよびトロポエラスチンと相互作用する。組織特異性: 副腎に発現する。組織特異性: 胎児副腎、胎児精巣、胎児平滑筋、横紋筋、心筋に高発現する。アイソフォーム XB-short は副腎にのみ発現する。

研究分野

焦点接着;ECM-受容体相互作用;

画像データ



TNXB 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。